



3市の地場産品をPRしました(Tokyo江戸ウィーク2019)



9月20日(金)競り前の大阪梅田生花市場

大阪・東京で農産物トップセールス

9月20日(金)と21日(土)、「農家のパーティ」ネットワーク(秋田中央地場産品活用促進協議会)の活動の一環で、JA管内の秋田市、男鹿市、潟上市とともにトップセールスを行いました。

大阪府の梅田生花市場では、秋田県産青果物キャンペーンガール「ミス・フレッシュ秋田」も参加して管内産のダリアや菊をPRしました。京極芳郎組合長は「生産者の感性の豊かさを楽しんでほしい」と挨拶し、JA秋

田なまはげ産の花きの品質のよさを紹介しました。

9月21日(土)には、京極組合長と吉田文勝副組合長が、穂積志秋田市長や菅原広二男鹿市長、藤原一成潟上市長とともに上野恩賜公園で催された「Tokyo江戸ウィーク2019」のイベントステージに登壇しました。上野を訪れた多くの人に3市の地場産品をPRしたほか、会場には「農家のパーティ」会員の方々によるブースが並び、行列ができるほどの盛況ぶりでした。



梅田生花市場内にはダリアが展示されました



挨拶する京極組合長(Tokyo江戸ウィーク2019)



上野恩賜公園に現れたなまはげに来場者も釘付け

